

第2章 生活環境影響調査項目の選定

生活環境影響調査項目の選定にあたっては、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成18年、環境省）に示す「最終処分場（陸上埋立：管理型）」において選定する標準的な例（以下「標準項目」という）を基本とし、事業計画等を踏まえた上で行った。

生活環境影響調査項目の選定結果を表 2-1 に示す。

表 2-1 生活環境影響要因と生活環境影響調査項目

調査事項	生活環境影響調査項目	生活環境影響要因	浸出水処理施設の処理水の放流	施設（浸出水処理施設）の稼働	埋立作業	施設（埋立地）からの悪臭の発生	廃棄物運搬車両の走行
大気環境	大気質	粉じん			●		
		二酸化窒素 (NO ₂)					●
		浮遊粒子状物質 (SPM)					●
	騒音	騒音レベル		●	●		●
	振動	振動レベル		●	●		●
	悪臭	特定悪臭物質、臭気指数 (臭気濃度)				●	
水環境	水質	生物化学的酸素要求量 (BOD)	▲				
		化学的酸素要求量 (COD)					
		全りん (T-P)、全窒素 (T-N)					
		ダイオキシン類 (DXN)					
		浮遊物質 (SS)					
		その他必要な項目					
	地下水	地下水			●		

注 1) ※凡例

● : 選定した項目

▲ : 標準項目のうち、公共下水道へ放流するため、生活環境に影響を及ぼす恐れがないことから、選定しなかった項目

2.1 選定した項目及びその理由

選定した項目及びその理由を、表 2-2 に示す。

表 2-2 選定した項目及びその理由

調査項目	調査内容	影響要因	選定理由	
大気環境	大気質	粉じん	埋立作業	埋立作業に伴い、粉じんの影響が考えられるため選定した。
		二酸化窒素 (NO ₂) 浮遊粒子状物質 (SPM)	廃棄物運搬車両の走行	廃棄物運搬車両の走行による二酸化窒素 (NO ₂)、浮遊粒子状物質 (SPM) の影響が考えられるため選定した。
	騒音	騒音レベル	埋立作業及び最終処分場の存在	埋立作業及び最終処分場の存在に伴い、設備機器等からの騒音の影響が考えられるため選定した。
			廃棄物運搬車両の走行	廃棄物運搬車両の走行による騒音の影響が考えられるため選定した。
	振動	振動レベル	埋立作業及び最終処分場の存在	埋立作業及び最終処分場の存在に伴い、設備機器等からの振動の影響が考えられるため選定した。
			廃棄物運搬車両の走行	廃棄物運搬車両の走行による振動の影響が考えられるため選定した。
悪臭	特定悪臭物質、臭気指数 (臭気濃度)	施設 (埋立地) からの悪臭の発生	施設 (埋立地) からの悪臭の影響が考えられるため選定した。	
水環境	地下水	最終処分場の存在	最終処分場の存在に伴い、地下水の流れへの影響が考えられるため選定した。	

2.2 選定しなかった項目及びその理由

選定しなかった項目及びその理由を、表 2-3 に示す。

表 2-3 選定しなかった項目及びその理由

調査項目	調査内容	影響要因	選定しなかった理由
水環境	水質 生物化学的酸素要求量 (BOD)、化学的酸素要求量 (COD)、全りん (T-P)、全窒素 (T-N)、ダイオキシン類 (DXN)、浮遊物質 (SS)	浸出水処理施設からの処理水の放流	浸出水は公共下水道放流とし、公共用水域への放流はないため選定しないこととした。